

行動県民会議会員のこれまでの取組状況・今後の計画

団体名：秋田県商工会議所連合会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|--|---|----------------------------------|
| 出会い・結婚支援 | 当所独自で平成21年度に「独身従業員交流パーティ」開催。22、23年度は、秋田市から「若者が創る出会いの場応援事業」を受託して「まちなかウォーク&交流パーティ」を開催。 | 今年は、会員企業の社員交流に重点を置いて、当所単独で、出会いの交流パーティを行う予定。 | |
| 出会い・結婚支援 | 「あきた結婚支援センター」の運営支援及び会員企業へのセンター事業PR。交流パーティイベント参加者にマッチング登録をPR。 | これまでの取組を継続する。 | |
| 県民運動 | ベビーウェーブ・アクション会長表彰候補者の推薦。少子化対策応援ファンドの審査協力。当所として、子どもの国づくり協定を締結。 | ベビーウェーブ・アクション会長表彰候補者の推薦。少子化対策応援ファンドの審査協力について継続。 | 秋田県商工会議所連合会としては、子どもの国づくり協定を締結済み。 |
| 若者の県内定着 | 新規高卒者に地元中小企業の魅力を伝える「中小企業就職促進懇談会」を開催し、県内就職の促進とミスマッチ解消による早期離職防止を図る。 | 秋田地域振興局、ハローワーク秋田と共催で7月29日に「新規高卒者・中小企業等就職促進セミナー」として拡大実施。 | |
| 仕事と家庭の両立支援 | 当所の育児・介護休業等に関する規則を、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の適用に合わせ一部改正。 | 規則による休暇取得を職員にPR。 | |

団体名：秋田県商工会議所女性会連合会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|----------|---|------------------------------------|----|
| 出会い・結婚支援 | 会員に向け、あきた結婚支援センターが実施した結婚支援セミナーや親の交流会チラシ等を配付し、あきた結婚支援センターの取組をPRした。 | 当会が開催する会議等において、少子化対策の啓蒙PRを継続して行う。 | |
| 若者の県内定着 | 当会会員事業所へ呼びかけて、学生のインターンシップを実施。研修生として自分の将来に関連する就業体験を会員事業所で経験することで、県内就職への意識醸成を図った。 | 昨年度から受入人数を拡大して実施しており、今年度も継続実施する予定。 | |

団体名：社団法人秋田県経営者協会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|---|-----------------------------|----|
| 仕事と家庭の両立支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・会議、講習会開催時のチラシ配布 ・会報へのチラシ封入 ・会報誌、ホームページへの情宣 | 会報、ホームページや会議等による会員への啓発、広報活動 | |

団体名：秋田県中小企業団体中央会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|---------------|--|-------------------------|---|
| 県民運動 | 「脱少子化ウェーブを巻き起こす行動県民会議」会長表彰候補に、大同衣料㈱を推薦し、受賞した。 11月22日のベビーウェーブ・アクション会長表彰表彰式に出席した。 | 本年度も該当企業があれば、推薦することとする。 | |
| 若者の県内定着 | 秋田県の受託事業として平成21年度から「匠の技継承支援事業」を実施、熟練技能を有する人材育成に取り組んだ。 | | |
| 仕事と家庭の両立支援 | 本会機関誌「中小企業あきた」7月号で、『仕事と家庭の両立支援奨励金』アンケート用紙及びリーフレットを挟み込みました。 | 引き続き本会機関誌で情報提供を行う。 | |
| 少子化対策全般に関する取組 | | 本会機関誌及びホームページにて情報提供を行う。 | 本会機関誌「中小企業あきた」5月号で、『少子化対策応援ファンド事業』の募集案内を掲載した。 |

団体名：公益社団法人日本青年会議所 東北地区秋田ブロック協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|----------|-----------------------------|---------|----|
| 出会い・結婚支援 | 独身会員への各種イベントの紹介 | 継続する。 | |
| 出会い・結婚支援 | 独身会員への「あきた結婚支援センター」の紹介と登録促進 | 継続する。 | |

団体名：秋田県農業協同組合中央会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|--|------------------------------|----|
| 出会い・結婚支援 | 1JA単独で、後継者等独身男女の出会いの場を提供する婚活の後押し事業を実施している。 | これまでの取組を継続する。 | |
| 出会い・結婚支援 | 「あきた結婚支援センター」の仕組みをJA女性部員・青年部員等に周知するとともに、女性部会長等は結婚サポーター登録をした。 | これまでの取組を継続するとともに、会員登録を後押しする。 | |
| 若者の県内定着 | 1JAが毎年県立大生を、1病院が地元高校生や看護学生のインターシップの受け入れを行っている。 | これまでの取組を継続する。 | |
| 仕事と家庭の両立支援 | 1病院が院内保育所を開設し、医師、看護師等の子弟の受入れをしている。(24時間保育) | これまでの取組を継続する。 | |

団体名：秋田県森林組合連合会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|---------|--|--|----|
| 若者の県内定着 | <p>県内の森林組合、林業事業体の新規就業者等（林業就業経験5年未満）を対象に、専門的かつ高度な知識・技術・技能を習得して、効率的な作業を安全に作業できることを目的とした人材育成研修を開催し、各企業の新人教育等の負担を軽減した。（23年度は75日間開催して111名が受講）</p> <p>また、林業就業者の技能水準引き上げを目的として、各種資格取得助成制度の周知活動を行った。</p> | <p>外部組織に人材育成を依頼することで、各事業所では社内で教育・訓練する能力が低下しており、優秀な人材を有効に活用できていないことから、各事業所の指導・教育担当者を対象にした研修会を開催して、職場内で効率的な教育がされるよう支援していきたい。</p> | |
| 若者の県内定着 | <p>東京都内において「森林（もり）の仕事ガイダンス」を開催して、県内出身者の大学生等に対して、秋田県内の林業就業状況や、企業（求人）情報、仕事内容についてのPR活動を行い、Uターン就職の推進を図ったが大きな効果はなかった。</p> | <p>今年2月に秋田市内で「林業就職合同説明会」を開催し、県内6事業所の採用担当者がブースを設けて、来場した33名の林業就業希望者と面談した結果、4名の相談者が県内林業会社に就職した。</p> <p>その他にも、説明会後に森林・林業に興味を持ち、県内で就職活動を行い林業会社に就職した情報があったことから、首都圏だけではなく地元学生に対しても説明する場を設けて、県内定着するよう働きかけていきたい。</p> | |
| 若者の県内定着 | <p>林業就業者の高齢化が喫緊の課題となっていたため、雇用対策の意味も含め、各種助成制度を活用して新規雇用を推進してきた結果、地元の他産業からの転職者が多数林業に就業しているが、失業者を優先して雇用した経緯もあり、新規就業者の平均年齢は高い傾向にあった。</p> | <p>23年度「ベビーウェーブ・アクション」会長表彰において、林業関係の企業・団体が受賞したことから、今年度は同業界で積極的に若年者を雇用する動きがあり、今年度の新規就業者向け研修の受講者は新卒者が前年度から5倍となり、首都圏からの移住者やUターン就職者も含まれている。</p> <p>今後も引き続き、新規雇用に取り組んでいる企業・団体を紹介し、業界全体が若者の地元定着を意識することで、林業就業者の高齢化率と離職率を改善していきたい。</p> | |

団体名：日本労働組合総連合会秋田県連合会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|---|---------|----------|
| 出会い・結婚支援 | 「あきた結婚支援センター」の仕組みや内容の周知を、傘下労組と企業が連携して、広報・登録に展開する。 | 今後も継続 | 平成22年度より |
| 若者の県内定着 | 連合の構成組合・企業に対して、トライアル・インターンシップの受入を要請 | 今後も継続 | |
| 仕事と家庭の両立支援 | 両立支援に係る制度の周知 | 今後も継続 | |
| 子育て環境の整備 | 育児休業制度に関する規定の整備 | 今後も継続 | |

団体名：秋田県社会保険労務士会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|-------------------------|--|--------------------------------------|--------------|
| 仕事と家庭の両立支援 | 一般事業主行動計画の策定等を支援するため、アドバイザーとして企業・団体へ助言等を行った。 (仕事と家庭の両立支援企業経営アドバイザー派遣) | これまでの取組を継続・強化 (次世代育成サポートアドバイザー派遣) | |
| 仕事と家庭の両立支援 (啓発・広報活動) | 育介法の周知やこれら法改正に伴う就業規則の改正指導等 | これまでの取組を継続 | 会員社労士を通じての活動 |

団体名：秋田魁新報社

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|--|--|----|
| 仕事と家庭の両立支援 | 毎週火曜日を「ノー残業デー」とし、早期退社を呼びかける。各部からチェックシートを提出させ、実施状況を確認する。 | これまでの取り組みを継続する。 | |
| 子育て環境の整備 | 従業員が3歳から小学校就学の始期に達するまでの子を就業しつつ養育する場合、始業・終業時刻の繰上げ又は繰下げを請求することができることと規則で定めている。 | 短時間勤務制度の拡充のほか、子供の看護休暇制度の有給化、弾力的運用について検討する。 | |
| 県民運動 | マスコミの立場から県民運動を取材・報道し、運動をバックアップする。 | これまでの取り組みを継続する。 | |

団体名：NHK秋田放送局

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|---------------------|---|------------------------|----|
| 若者の県内定着 出会い・結婚支援 | 23年度シリーズで放送した「人口減少社会」中では、秋田県の高齢化問題に加えて、県内の就職難や婚姻率・出生率についても取り上げたほか、ニュース番組でもあきた結婚支援センターなど少子化対策に向けた様々な話題を放送した。 | 今後も地域のニュース・番組で取り上げていく。 | |
| 仕事と家庭の両立支援 | 次世代育成支援第3期行動計画(22.4.1～27.3.31)にもとづき、「仕事と家庭の両立を支援する良好な職場環境づくり」の取り組みを推進。また、関連するトークセッションを全国2会場で開催した。 | 第3期行動計画に沿って取り組んでいく。 | |

団体名：(株)秋田放送

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|----------|---|---|-------------|
| 子育て環境の整備 | 「子育て応援団 すこやかあきた」の実施。秋田県立武道館にて7月末～8月初めに開催。 | 平成24年7月28日(土)29日(日)開催予定。会場 秋田県立武道館。今後も継続予定。 | 平成20年度より開催。 |
| 子育て環境の整備 | テレビ・ラジオ番組・HP内で子育てに役立つ施設や団体の活動などを紹介。 | これまでの取り組みを継続する。 | |
| 若者の県内定着 | 地元大学生を対象に毎年5名程度のインターンシップを受け入れている。 | これまでの取り組みを継続する。 | |

団体名：秋田テレビ(株)

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|---------|--|-----------------------|----|
| 広報活動の展開 | 男性の育児参加(イクメン)、仕事と育児の両立について、ニュース企画にて紹介。 | 出産・子育て環境の整備の重要性を紹介。 | |
| 広報活動の展開 | あきた結婚支援センターの運営や縁結びマップについてのニュース報道。 | 出会い・結婚支援につながる情報を発信する。 | |
| 若者の県内定着 | 小・中学生などを対象に社内見学を実施するなど、県内就職への意識付けを行う。 | 今後も継続する。 | |

団体名：秋田朝日放送(株)

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|-------------|---|-------------------|---|
| 出産・子育て環境の整備 | テレビ番組を制作、放送し、広く県民に少子化対策の必要性を周知、啓蒙 | 機会があれば、同様の取組をする予定 | 2010年度、2011年度で、テレビ番組「少子化脱却大作戦」を、それぞれ15回シリーズで放送(10月～1月) 毎週月曜日 20:54～21:00 |
| 仕事と家庭の両立支援 | 改正育児休業法の内容を全社員に周知し、対象者の短時間勤務への理解、協力を深めてもらう。 | | |

団体名：公益社団法人 秋田県看護協会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|---|--|----|
| 出会い・結婚支援 | 秋田県看護協会通常総会に、あきた結婚支援センターのチラシを配布し、結婚支援のPRを行った。 | これまでの取り組みを継続する。 | |
| 少子化対策全般 | 「子育て応援団」等の他団体主催イベントに積極的に参加 | これまでの取り組みを継続する。 | |
| 仕事と家庭の両立支援 | 看護職の働きやすい職場づくり推進に向け、ワーク・ライフ・バランスの考え方を普及・浸透させていく。 ・就業環境改善総合相談窓口の設置 ・ブロック研修会の実施 ・離職防止活動として院内保育所の施設見学(県内8施設の見学訪問を行い、育児環境の整備状況を把握した) | ・看護職の働きやすい職場づくり推進のため、日本看護協会との共同によるワークショップを開催する。 ・これまで同様、ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及を図るため、ブロック別研修会を開催する。 | |

団体名：一般社団法人 秋田県助産師会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|-------------|--|---|----|
| 出産・子育て環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・助産師として、妊産婦に対して安全、安心、安楽な出産環境を提供する。 ・育児サポートを行う(電話・来所相談等)。 ・小中高生に対する性教育(命の大切さ出前講座)を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を継続する。 ・少子化対策応援ファンド事業の活用(楽しい子育て・孫育て講座を9回開催し、家族の関係性を良くし、育児の心理的・身体的負担を軽減する事業) ・県の女性健康支援センター事業を受諾し、幅広く女性の健康相談に応じる。 | |

団体名：子ども・子育て支援推進鹿角地区協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|-------|--|------------------------------------|----|
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに啓発事業を企画し実施。 ・昨年度は、妊婦さんのための子育て教室『うみたの』を4回開催した。 | 昨年度と同様、妊婦さんのための子育て教室『うみたの』を5回開催予定。 | |

団体名：子ども・子育て支援推進北秋田地区協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|-------|--|----------------|----|
| 子育て支援 | 秋田内陸縦貫鉄道の貸切列車「なかよしぽっぽ号」を運行。23年度は子育て中の親子37組113名が参加した。 | 今年度も開催予定(8回目) | |
| 子育て支援 | 大館市・北秋田地区の子育て情報を満載した子育て情報誌「べびはぐ」の発行。年3～4回発行。 | 今年度も発行予定(2回程度) | |

団体名：子ども・子育て支援推進能代山本地区協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------------------|-------------------------------------|--|----|
| 出産・子育て環境の整備 (子育て支援) | ○ふあんふあんイベントの開催 ・自然体験 ・ものづくり体験 | ○父親参加型のイベントが好評なので、 今後も父親参加を取り入れたふあんふあ んイベントを開催予定 | |
| 出産・子育て環境の整備 (子育て支援) | ○ネットワークを活かした取り組み (団体間の協力・交流) | ○秋田県子ども・子育て支援条例に基づく 活動計画書を提出している団体と交流を 図り、ネットワークを広げていく | |
| 出産・子育て環境の整備 (子育て支援) | ○情報の受発信 ・メディアの活用 ・ネットワークの活用 | ○情報が行き渡る仕組み作りと媒体を考 え実践する | |

団体名：子ども・子育て支援推進秋田周辺地区協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|--|--------------|----|
| 仕事と家庭の両立支援 | 「子育てで地域を元気に！みんなの子育 て情報交換会」の開催 ・子育てに関わる方々や、企業を対象とし た出会いと情報交換の場を設け、参加者 が今後、一層充実した子育てや子育て支 援を行うことを目的に開催した。 | 今年度の協議において検討 | |
| 子育て環境の整備 | 「ちびっこスギッチ広場」 ・参加者が自由に交流することにより、子 育て支援の輪を広め、絆を深める機会と し、 家族が楽しく貴重な体験をすることで、子 どもの心の成長に資することを目的に開 催した。 | 今年度の協議において検討 | |

団体名：子ども・子育て支援推進由利地区協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|---|--|--------------------------------|
| 子育て環境等の整備 | 地区協議会において、管内の子育て支援情報や団体の取り組みについて情報提供を図った。 H23は子育てタクシー事業やこどものえきについて、周知を行った。 | 継続 | いっしょにねっとHPを利用した、県民への情報提供(H23～) |
| 仕事と家庭の両立支援 | | H24事業計画において、親子クッキングと父親と子どもの参加型イベントを計画。 | |
| 仕事と家庭の両立支援 | 男性の育児休業取得等、県の推進する施策を周知し、積極的に取り組んでもらうよう働きかけた。 | 継続 | |

団体名：子ども・子育て支援推進仙北地区協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|----------|---|---------------|----|
| 子育て環境の整備 | 親子参加型のイベント「みんなの子育て応援隊」を通じて、子育て世代の交流促進、子育て支援関係者のネットワーク拡充を図る。 | これまでの取組を継続する。 | |

団体名：子ども・子育て支援推進横手地区協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|----------|--|---------------|----|
| 子育て環境の整備 | ・年4回開催の会議等において、相互に情報を提供、共有し、それらを委員が所属する団体等にフィードバックしている。 ・地域住民に対し、子ども・子育て支援に関する情報を発信する啓発事業を開催。 | これまでの取組を継続する。 | |

団体名：子ども・子育て支援推進湯沢雄勝地区協議会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|----------|--|---|----|
| 子育て環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関する講習会や子育て環境の向上に向けて啓発イベントを開催し、会場にて子育て支援情報を提供している。 ・関係団体等で連絡会を構成し、双方向の会員向け情報網を整備。 | <ul style="list-style-type: none"> ・内容の充実を図りながら、取り組みを継続する。 | |

団体名：秋田県理容生活衛生同業組合

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|------------|--|--|----|
| 子育て環境の整備 | 全組合員店舗に「子ども・女性110番」のプレートを掲示 | 平成13年6月から継続して実施 | |
| 仕事と家庭の両立支援 | 理事会、支部役員会等で組合員に「子どもの国づくり推進協定」の周知、締結を促進 | 各店舗が締結書を店舗の目につく場所に掲示することにより、間接的にお客様(県民)に幅広く周知できると思われる。 | |

団体名：あきた結婚支援センター

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|----------|---|---|----|
| 出会い・結婚支援 | <p>23年4月にリニューアルオープン。 県内3カ所のセンターに結婚コーディネーターを配置し、会員制のマッチング(お見合い)や出会いイベント開催支援、結婚サポーター養成などを行ってきた。 ○登録会員数は、1,011人 ○成婚者数は68人(マッチングとイベント関係の合計)。</p> | <p>新たに専門アドバイザーを委嘱し、センターの機能強化を図るとともに、独身男女を対象とした講座の実施や県民対象セミナーを開催する。 引き続き、会員制のマッチングや出会いイベント支援、結婚サポーターの養成等を行う。 ○目標は年間成婚者100人(マッチングとイベント関係の合計)。</p> | |

団体名：秋田県立大学生物資源科学部学生会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|----------|-----------|---|----|
| 出会い・結婚支援 | | 国際教養大学との合同体育祭を開催し、男女混合チームで楽しんでもらう(運動会合コン)。 | |
| 出会い・結婚支援 | | クリスマスパーティーなど、他大学や本学他キャンパスとの交流を図ることで、男女の出会いの場をつくる。 | |

団体名：秋田県立大学システム科学技術学部学生自治会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|---------|--|-------------------|----|
| 少子化対策全般 | 「あきた結婚支援センター」や県民行動会議の取り組み等について、学内にポスター掲示することなどにより普及啓発を図っている。 | これまでの取り組みを継続実施する。 | |

団体名：ノースアジア大学学生会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|-------|---|--|----|
| 県民運動 | 若者が日常的に少子化問題を意識できるよう、縁結びや子宝に縁のあるマップを作成。 | 学内で、デートやドライブ等におけるおすすめスポットとして積極的に周知を図る。 | |

団体名：国際教養大学学生会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|---------|--|-----------|--------------------------------|
| 若者の県内定着 | 在学生・留学生を対象に秋田の農業や祭りに参加してもらったり、小学校への訪問を行っている。 | 引き続き継続する。 | 県内の学生だけでなく、県外からの学生や留学生の定着も目指す。 |
| 若者の県内定着 | 県内の高校生を対象に英語のワークショップを行う。 | 引き続き継続する。 | |

団体名：秋田県町村会

| 取組の区分 | これまでの取組状況 | 今後の取組計画 | 備考 |
|---------------------|---|---------|----|
| 少子化対策施策に関する総合的な連絡調整 | 県少子化対策局の企画・実施する各種施策に関する事業内容・予算等に係る町村長との意見交換の場の提供並びに連絡調整 | 同左 | |